

## 教育部告示 第 2019-189 号

幼児教育法第 13 条第 2 項に基づいて幼稚園教育課程を次のように告示する。

2019 年 7 月 24 日

教育部長官

### 付則

1. この教育課程は 2020 年 3 月 1 日から施行する。
2. 教育部告示第 2015-61 号 幼稚園教育課程 (2015. 2.24) は 2020 年 2 月 29 日で廃止する。

# ヌリ課程の性格

ヌリ課程は3~5歳の幼児のための 国家水準の共通教育課程である。

- カ. 国家水準の共通性と地域、機関および個人水準の多様性を同時に追求する。
- ナ. 幼児の全人的発達と幸福を追求する。
- タ. 幼児中心と遊び中心を追求する。
- ラ. 幼児の自律性と創意性伸長を追求する。
- マ. 幼児、教師、園長（監）、保護者および地域社会が共に実現していくことを追求する。

# 第1章 総論

- I. 又リ課程の構成方向
- II. 又リ課程の運営

# 第1章 総論

## I. ヌリ課程の構成方向

### 1. 追求する人間像

ヌリ課程が追求する人間像は次の通りである。

- カ. 健康な人間
- ナ. 自主的な人間
- タ. 創意的な人間
- ラ. 感性が豊かな人間
- マ. とともに生きる人間

### 2. 目的と目標

ヌリ課程の目的は幼児が遊びを通して心身の健康と調和のとれた発達を成して、正しい人格と民主市民の基礎を形成することにある。

これを実現するための目標は、次の通りである。

- カ. 自分の大切さを知り、健康で安全な生活習慣を育てる。
- ナ. 自分のことを自分で解決する基礎能力を育てる。
- タ. 好奇心と探究心をもって、想像力と創意力を育てる。
- ラ. 日常の中で美しさを感じて、文化的感受性を育てる。
- マ. 人間と自然を尊重し、配慮して疎通する態度を育てる。

### 3. 構成の重点

ヌリ課程構成の重点は次の通りである。

- カ. 3~5歳全ての幼児に適用することができるように構成する。
- ナ. 追求する人間像具現のための知識、技能、態度および価値を反映して構成する。
- タ. 身体運動・健康、意思疎通、社会関係、芸術経験、自然探究の5領域を中心として構成する。
- ラ. 3~5歳の幼児が経験すべき内容で構成する。
- マ. 0~2歳 保育課程および初等学校教育課程との連携性を考慮して構成する。

## II. ヌリ課程の運用

### 1. 編成・運用

次の事項に応じて、ヌリ課程を編成・運営する。

- カ. 1日4~5時間を基準として編成する。
- ナ. 日課の運営に応じて、拡張して編成することができる。
- タ. ヌリ課程に基づき、各機関の実情に適合した計画を樹立して運営する。
- ラ. 一日の日課において 外遊びを含んで幼児の遊びが十分に成立するように編成して、運営する。
- マ. 性、身体的特徴、障害、宗教、家族および文化的背景等によって差別されないように編成して運営する。
- パ. 幼児の発達と障害の程度に応じて、調整し運営する。
- サ. 家族と地域社会との協力と参加に基礎をおいて、運営する。
- ア. 教師研修を通して、ヌリ課程の運営が改善されるようにする。

## 2. 教授・学習

教師は次の事項に従って、幼児を支援する。

- カ. 幼児が興味と関心に従って、遊びに自由に参加し楽しむようにする。
- ナ. 幼児が遊びを通して学べるようにする。
- タ. 幼児が多様な遊びと活動を経験することができるよう、室内外の環境を構成する。
- ラ. 幼児と幼児、幼児と教師、幼児と環境間に、能動的相互作用が成り立つようにする。
- マ. 5領域の内容が、統合的に幼児の経験と関係されるようにする。
- パ. 個別幼児の要求に応じて、休息と日常生活が円滑に成立するようにする。
- サ. 幼児の年齢、発達、障害、背景などを考慮し、個別特性に適合する方式で学ぶようにする。

## 3. 評価

評価は、次の事項に重点をおいて実施する。

- カ. 又り課程運営の質を診断して、改善するために評価を計画して実施する。
- ナ. 幼児の特性および変化程度と又り課程の運営を評価する。
- タ. 評価の目的に従って、適切な方法を使用して評価する。
- ラ. 評価の結果は幼児についての理解と、又り課程運営改善のための資料として活用することができる。

## 第2章 領域別目標および内容

- I. 身体運動・健康
- II. 意思疎通
- III. 社会関係
- IV. 芸術経験
- V. 自然探究

## 第2章 領域別目標および内容

### I. 身体運動・健康

#### 1. 目標

室内外で身体活動を楽しみ、健康で安全に生活する。

- 1) 身体活動に楽しく参加する。
- 2) 健康な生活習慣を身につける。
- 3) 安全な生活習慣を身につける。

#### 2. 内容

内容区分	内 容
身体活動を楽しむ	身体を認識して動かす。
	身体動作を調節する。
	基礎的な移動運動、その場の運動、道具を使った運動をする。
	室内外の身体活動に自発的に参加する。
健康な生活をする	自分の体と周辺を清潔にする。
	体によい食物に関心をもって、正しい態度で楽しく食べる。
	一日の日課の中で適当な休息をとる。
	疾病を予防する方法を知って、実践する。
安全な生活をする	日常の中で安全に遊び、生活する。
	テレビ、コンピューター、スマートフォン等を正しく使用する。
	交通安全規則を守る。
	安全事故、火災、災難、虐待、誘拐などに対処する方法を経験する。



## Ⅱ. 意思疎通

### 1. 目標

日常生活に必要な意思疎通能力と想像力を育てる。

- 1) 日常生活において聞いて、話すことを楽しむ。
- 2) 読むことと書くことに関心をもつ。
- 3) 本やお話を通して、想像することを楽しむ。

### 2. 内容

内容区分	内 容
聞くことと話すこと	言葉や話を、関心をもって聞く。
	自分の経験、感じたこと、考えを話す。
	状況に適切な単語を使用して話す。
	相手の話を聞いて、関連して話す。
	正しい態度で聞いて、話す。
	きれいな言葉を使う。
読み書きに関心をもつ	言葉と文字の関係に関心を持つ。
	周辺の象徴、文字等の読みに関心を持つ。
	自分の考えを文字と似ている形で表現する。
本とお話を楽しむ	本に関心を持って、想像することを楽しむ。
	童話、童詩で言葉の面白さを感じる。
	言葉遊びとお話づくりを楽しむ。

### Ⅲ. 社会関係

#### 1. 目標

自分を尊重し、ともに生活する態度を身につける。

- 1) 自分を理解して、尊重する。
- 2) 他の人と仲良くする。
- 3) 私たちが住んでいる社会と多様な文化に関心をもつ。

#### 2. 内容

内容区分	内 容
自分を知って尊重する	自分を知って、大切にする。
	自分の感情を知って、状況に合わせて表現する。
	自分ができることを自分からする。
一緒に生活する	家族の意味を知って、仲良くする。
	友だちと互いに助け合い、仲良くする。
	友だちとの葛藤を肯定的な方法で解決する。
	互いに異なる感情、考え、行動を尊重する。
	友だちと大人に、礼儀正しく行動する。
社会に関心をもつ	自分が住んでいる場所について、気がかりなことを調べてみる。
	我が国について、自負心を持つ。
	多様な文化に関心を持つ。

## IV. 芸術経験

### 1. 目標

美しいことと芸術に関心を持ち、創意的表現を楽しむ。

- 1) 自然と生活および芸術の中で、美しさを感じる。
- 2) 芸術を通して創意的に表現する過程を楽しむ。
- 3) 多様な芸術表現を尊重する。

### 2. 内容

内容区分	内 容
美しさを探してみる	自然と生活の中で美しさを感じて、楽しむ。
	芸術的要素に関心を持って、探してみる。
創意的に表現する	歌を楽しく歌う。
	身体、事物、楽器で簡単な音とリズムを創ってみる。
	身体や道具を活用して、動作と踊りで自由に表現する。
	多様な美術材料と道具で、自分の考えや感じたことを表現する。
芸術鑑賞をする	劇遊びで経験やお話を表現する。
	多様な芸術を鑑賞し、想像することを楽しむ。
	相互に異なった芸術表現を尊重する。
	我が国の伝統芸術に関心を持って、親しんでいく。

## V. 自然探究

### 1. 目標

探究する過程を楽しんで、自然と一緒に生きていく態度を身につける。

- 1) 日常の中で好奇心を持って、探究する過程を楽しむ。
- 2) 生活の中の問題を数学的、科学的に探究する。
- 3) 生命と自然を尊重する。

### 2. 内容

内容区分	内 容
探究過程を楽しむ	周辺の世界と自然について持続的に好奇心を持つ。
	気になることを探究する過程を楽しむ。
	探究過程において相互に異なる考えに関心を持つ。
生活の中で探究する	物体の特性と変化を、いろいろな方法で探索する。
	物体を数え、数量を調べてみる。
	物体の位置と方向、形態を知って区別する。
	日常の中で長さ、重さ等の属性を比較する。
	周辺で反復されている規則を探す。
	日常の中で集めた資料を、基準に従って分類する。
	道具と機械に関心を持つ。
自然とともに生きる	周辺の動植物に関心を持つ。
	生命と自然環境を大切にする。
	天気と季節の変化を、生活と関連付ける。

\* 2019. 10. 10 吉田真弓訳(丹羽孝校正)